

北海道港湾の整備促進のための

要望書

令和5年5月

北海道港湾協会

はじめに

四方を海に囲まれた北海道においては、国内の物流の92%、海外との物流のほとんどを海上輸送に依存しており、港湾は極めて重要な社会資本です。特に、この世界情勢が不安定な状況では、食料安全保障上、農産品や水産品の一大供給基地である北海道の食料供給力を向上させるための港湾整備が必要となっています。

また、北海道沿岸でも気候変動等により、海面上昇や波高増大が観測されるなど、カーボンニュートラルの取り組みを強力に進める必要があります。北海道の港湾は、洋上風力発電やバイオマス発電等の再生可能エネルギー発電の拠点として、その推進に向けた港湾機能の強化が重要となっています。さらに、防波堤を利用したブルーカーボンによるCO₂の貯留といった新たな取り組みも始まっています。

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震等への対応も「待ったなし」の状況です。港湾や海岸における津波浸水対策とともに、災害発生後の緊急物資の受け入れを確保する耐震強化岸壁の整備や既存港湾施設の老朽化対策等、国土強靱化の取り組みが極めて重要です。

加えて、北海道では3年4ヶ月ぶりに国際クルーズ船の寄港が再開したところです。再び賑わいを取り戻し、コロナ禍前以上の寄港の実現のため、安心してクルーズを楽しめる環境づくりを進める必要があります。

つきましては、北海道の基幹産業、物流、観光等の社会経済活動を支える各港湾の整備・機能強化が急務となっておりますので、令和6年度予算におきましては、全国の港湾整備予算はもとより北海道の港湾整備予算全体の増額について特段のご配慮を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 地域の基幹産業の競争力強化

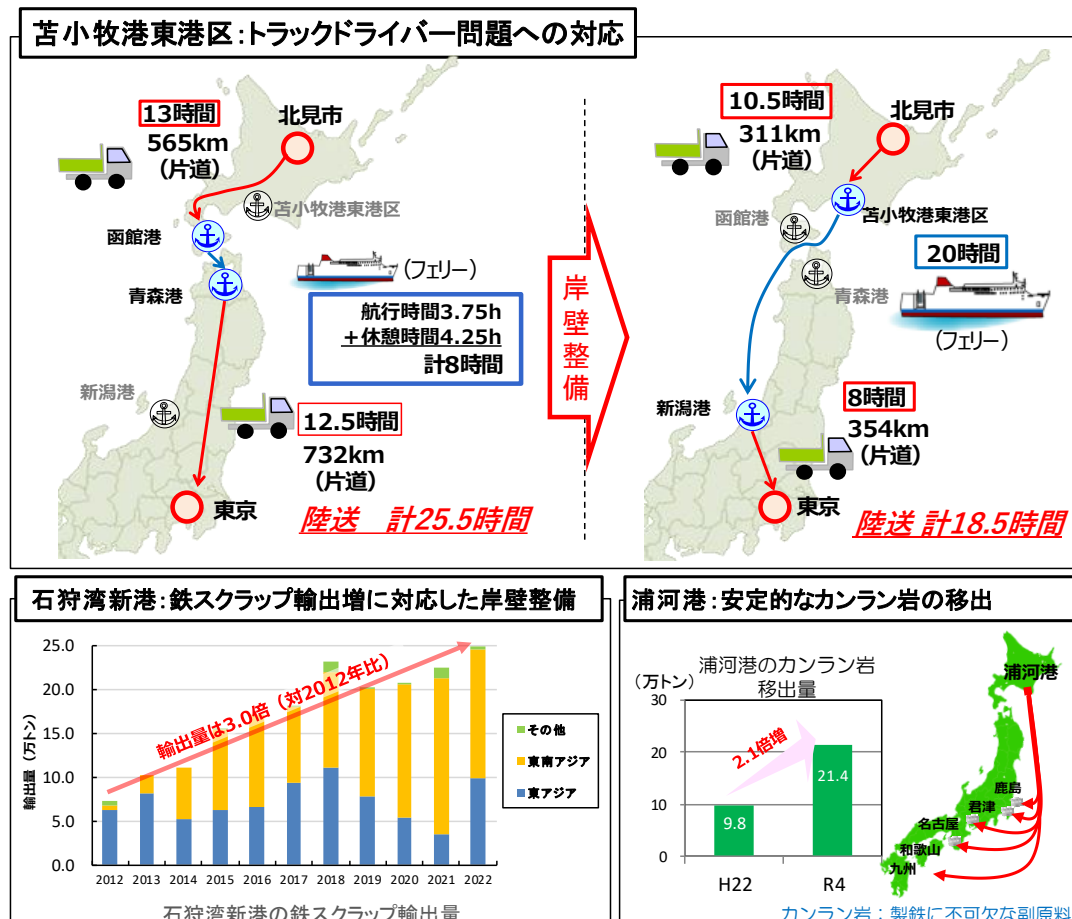
役割

- 北海道の港湾には食料品製造業、製紙業、自動車関連産業、エネルギー産業、鉱業など地域の基幹産業が集積し、港湾整備による民間投資の誘発等を通じて、雇用と経済を支え、国民生活の向上に寄与しています。
- 「食」の一大供給基地である北海道の農水産物等は、フェリー等の船舶によって全国に輸送されています。トラックドライバーの2024年問題も踏まえ、産地に近い港湾の利用要請が増しています。

要望

- 農水産品や鉱産品等のサプライチェーンの効率化や強靱化、公共埠頭の混雑緩和、物流効率化や再編を進めるため、複合一貫輸送ターミナルや大水深の係留施設等の国際・国内物流の機能強化をお願い申し上げます。
- 船舶の安全な入出港を確保するため、港内静穏度の向上に資する防波堤の延伸・改良や航路・泊地の浚渫等の整備促進をお願い申し上げます。

<対象港：苫小牧港、函館港、十勝港、石狩湾新港、宗谷港、浦河港、白老港、瀬棚港、天塩港 等>



2. カーボンニュートラルの推進

役割

- ・ 北海道は風況や地域資源を利用した再生可能エネルギーや広大な藻場等の吸収源を最大限活用することにより、2050年までに「ゼロカーボン北海道」を目指すこととしており、その拠点となる港湾が大きな役割を担います。
- ・ 特に、北海道の洋上風力発電の政府の導入目標は最大で全国の約3分の1を占める約1,500万kWと示され、洋上風力関連産業の新規立地等が進む中、その実現に向けた港湾機能の強化が必要となります。
- ・ また、釧路港島防波堤における海藻等による単位面積あたりのCO₂貯留量は森林の2.4倍と推計され、新たな港湾の役割も期待されるところです。

要望

- ・ 再生可能エネルギーの導入等に向け、洋上風力発電の基地港湾の指定とともに、大型船による輸送効率化を図るための航路・泊地の浚渫やブルーカーボン生態系の創出にも資する防波堤等の整備促進をお願い申し上げます。
 <対象港：室蘭港、釧路港、稚内港 等>

洋上風力発電プロジェクトと基地港指定の意向のある港湾

環境省調査
稚内港
留萌港
石狩沖 (一般海域)
石狩湾新港
石狩湾新港洋上風力発電事業 (港湾区域)
室蘭港
環境省調査
松前沖 (一般海域)
岩宇・南後志地区沖 (一般海域)
島牧沖 (一般海域)
檜山沖 (一般海域)

基地港湾のイメージ

【組立用、資機材保管用の後背地】
一定の耐荷重と必要な面積の確保

ブレード タワー ナセル

【岸壁前面水域の海底】
・SEP船を支える
一定の耐荷重

【岸壁】
・必要水深・延長確保
・一定の耐荷重

風力発電資機材の荷揚(稚内港)

防波堤の工夫による藻場の生育状況(釧路港)

30m 30m
100m 60m 100m
100m

令和3年6月撮影

3. 防災・減災、国土強靱化の推進

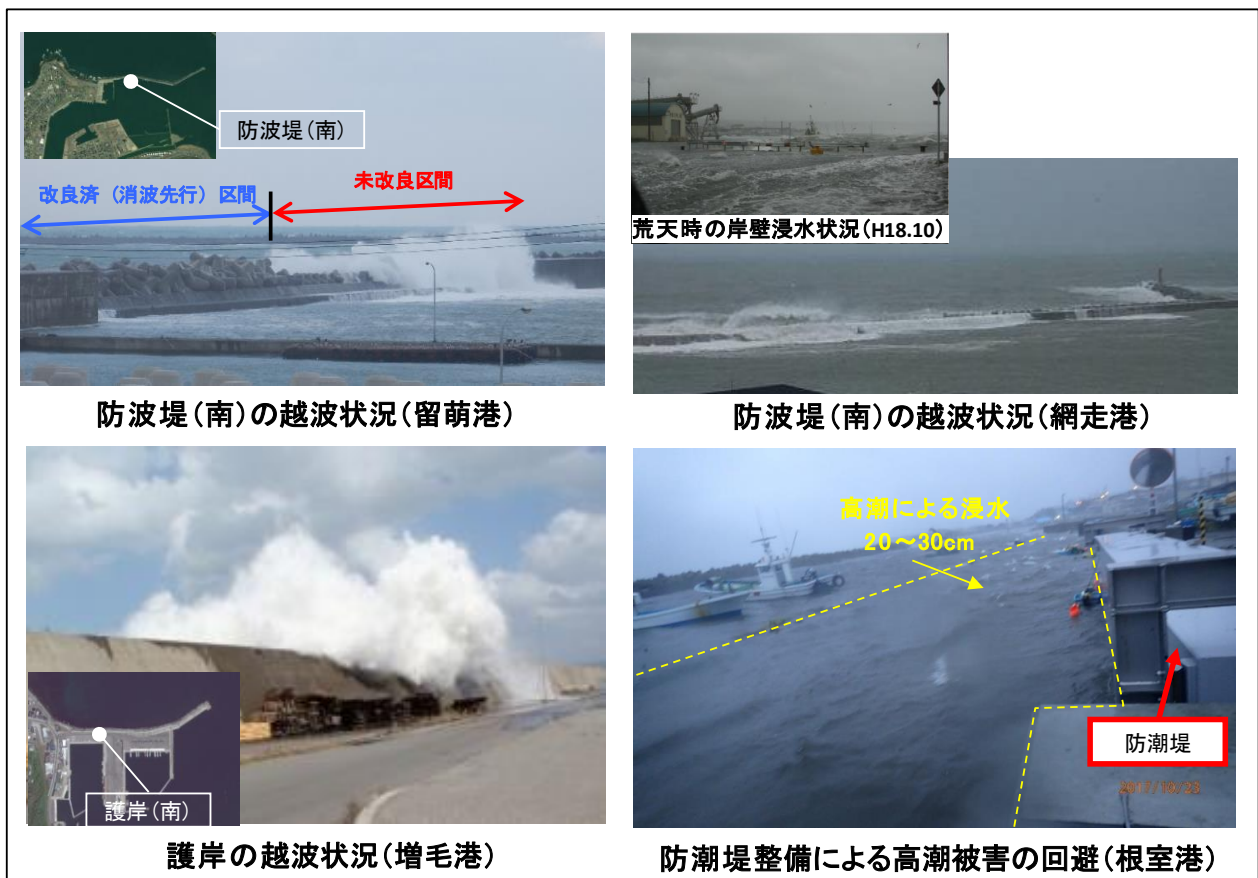
役割

- ・ 多くの港湾で年最大波高が増加の傾向を示しており、気象変動による影響等から港湾や背後市街地に被害が生じております。
- ・ さらに、切迫する日本海溝・千島海溝沿いの海溝型地震等の大規模災害に備えるため、港湾や港湾海岸の防災・減災、国土強靱化が必要です。

要望

- ・ 地震・津波や高潮・高波・暴風等に対する対策として、人命の防護や資産被害の軽減を図る港湾施設及び港湾の海岸保全施設等の整備促進をお願い申し上げます。
- ・ 近年の気候変動による高潮・高波・暴風等の災害の頻発化及び激甚化等に備え、更なる国土強靱化を図るために、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に必要な予算の確保をお願い申し上げます。

<対象港：苫小牧港、留萌港、網走港、増毛港、樞法華港 等>



4. 農水産物・食品の輸出促進

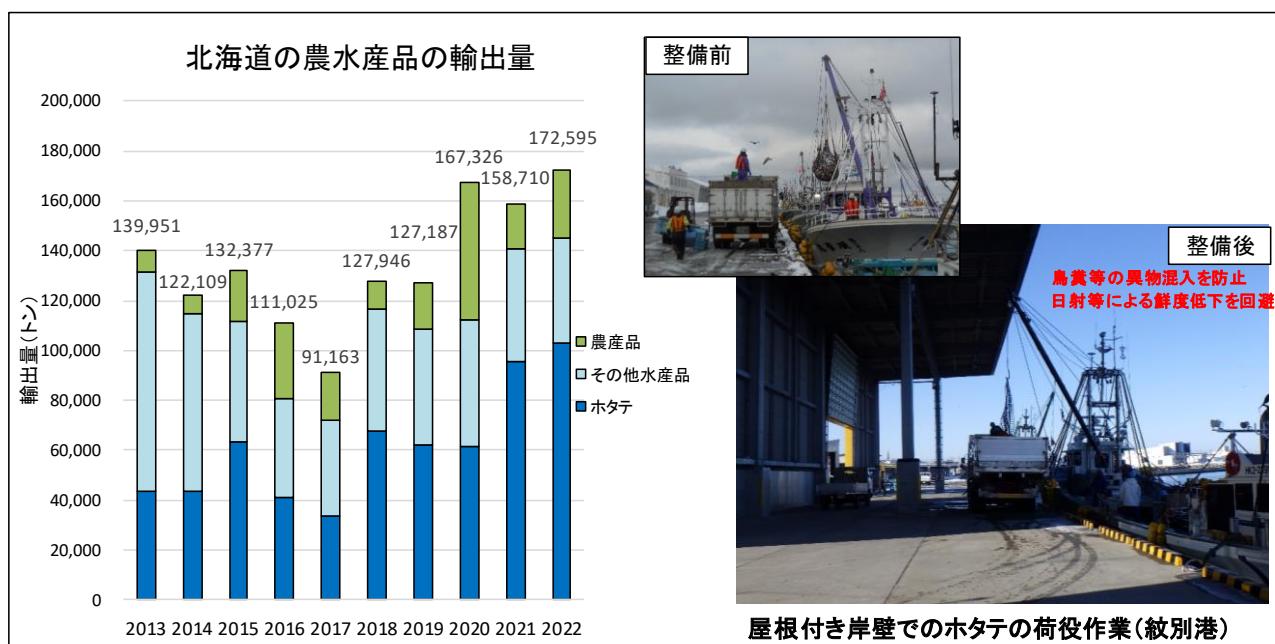
役割

- 令和4年の北海道の農水産物・食品の輸出額は989億円に達し、平成24年比で2.7倍に拡大しており、その輸出額の8割以上は、苫小牧港や石狩湾新港等の港湾から輸出されております。
- 農水産物の輸出を促進するため、北海道の産地と輸出拠点の6港湾管理者が農水産物輸出促進計画を連携して策定し、連携水揚港湾5港のうち3港湾の屋根付き岸壁の整備も着々と進められているとともに、他の港湾においても輸出に資する取り組みを進めています。
- さらに、地域の漁業協同組合や民間企業等と連携し、小口混載コンテナ等による農水産物の輸出促進の先進的な取り組みを進めており、政府目標である農林水産物・食品の輸出額2030年5兆円の達成に貢献します。

要望

- 農水産物の輸出増加を図るため、水産物の品質・衛生管理機能の強化に資する屋根付き岸壁や臨港道路等の整備促進をお願い申し上げます。

<対象港：紋別港、根室港、枝幸港、森港>



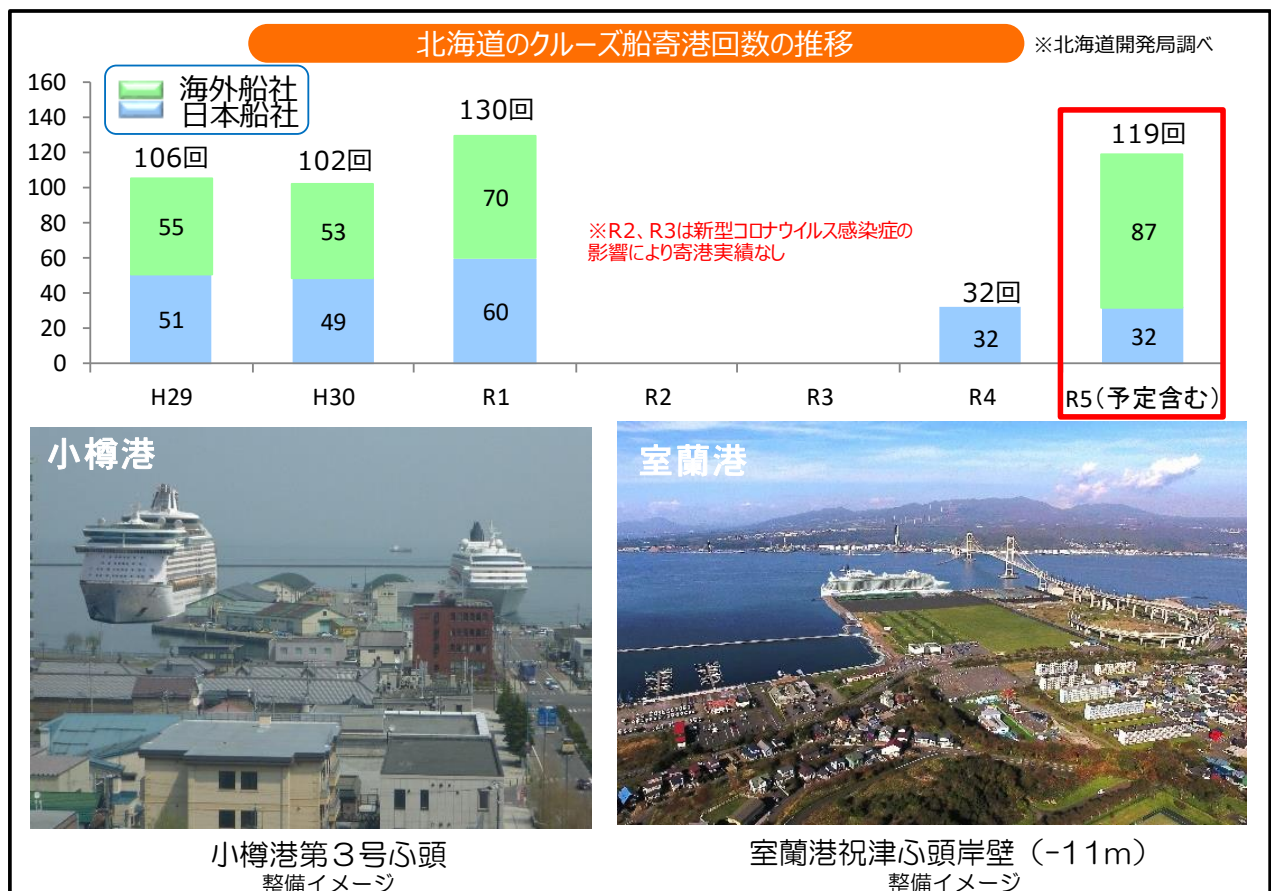
5. クルーズ観光の推進

役割

- ・ 北海道のクルーズ観光は、北海道経済の活性化に大きな役割を果たしています。これまで新型コロナウイルス感染症の影響により寄港のキャンセルが相次ぎましたが、令和5年3月から国際クルーズ船の寄港が再開し、再び安心してクルーズを楽しむ環境づくりを推進することが必要です。
- ・ 民族共生象徴空間（ウポポイ）などの魅力的な道内各地の観光地への誘客促進はもちろんのこと、道産食材のクルーズ船への提供、内陸部も含めた広域に及ぶ寄港地観光等、新たな港湾の役割も期待されています。

要望

- ・ 既存ストックを活用した大型クルーズ船の受入環境の改善に必要な整備の促進とともに、寄港地観光資源の充実に向けた支援をお願い申し上げます。
 <対象港：室蘭港、小樽港 等>



6. 有人国境離島の住民生活の安定・安全の確保

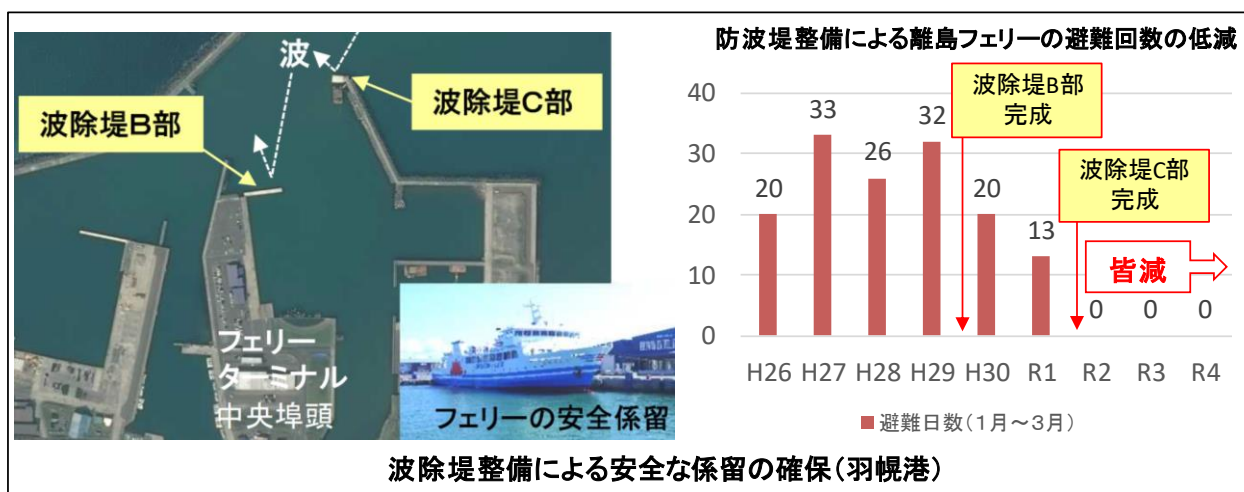
役割

- ・ 有人国境離島法に基づき、利尻・礼文、奥尻島は特定有人国境離島地域、天売・焼尻は有人国境離島地域に指定されております。こうした離島地域は、漁業、海洋調査や低潮線保全区域の監視等、領海の保全等に関する活動の拠点として重要な役割を果たしています。

要望

- ・ 離島における安定的な住民生活の維持とともに、人流・物流・産業の活発化を通じた地域活性化を図るため、離島の生命線であるフェリーの利用岸壁の静穏度対策や港湾施設の老朽化対策等の推進をお願い申し上げます。

<対象港：江差港、奥尻港、羽幌港、鴛泊港、杓形港、香深港>



7. 港湾施設の老朽化対策の推進

要望

- ・ 港湾が引き続き地域の産業や住民生活を支えるため、港湾施設の老朽化対策の推進をお願い申し上げます。

<対象港：釧路港、えりも港、岩内港 等>

8. 社会資本整備総合交付金（港湾、港湾海岸）等の予算の確保

要望

- ・ 港湾管理者が実施する大型岸壁と接続する主要なアクセス道路の改良・補修、港湾の防災機能強化や海岸保全施設などの整備促進に必要な社会資本整備総合交付金とともに、港湾及び海岸の集中的かつ計画的な老朽化対策に必要なメンテナンス事業の予算の確保をお願い申し上げます。



9. 現状の特例制度や組織体制の存続・強化

要望

- ・ 今後とも北海道の資源・特性を活かして、我が国が直面する国の課題の解決への貢献と地域の活力ある発展を図るため、北海道総合開発計画の策定と予算の一括計上とともに、北海道の港湾整備に関する特例制度等、現状の北海道港湾の整備体制の存続・堅持をお願い申し上げます。
- ・ さらに、北海道の港湾は市町が主に港湾管理者となっており、港湾を専門とする技術職員が確保できない状況です。港湾施設の点検や工事の安全対策等について、北海道開発局と連携して進めているところであり、北海道開発局の更なる人員確保等、体制の強化をお願い申し上げます。
- ・ また、北海道の港湾の背後圏が広大であることなどから、地方港湾についても地域の産業を支える重要な役割を果たしており、防災・減災、国土強靱化の推進や生産空間の維持・発展のため、地方港湾の予算の更なる増額をお願い申し上げます。

北海道港湾協会

特別顧問 衆議院議員 伊東良孝

国際拠点港湾・重要港湾

| | |
|-----------------------|-------------|
| 室蘭港湾管理者 (室蘭市長) | 青山 剛 (副会長) |
| 苫小牧港湾管理者 (苫小牧市長) | 岩倉 博文 |
| 函館港湾管理者 (函館市長) | 大泉 潤 |
| 小樽港湾管理者 (小樽市長) | 迫 俊哉 |
| 釧路港湾管理者 (釧路市長) | 蝦名 大也 (会長) |
| 留萌港湾管理者 (留萌市長) | 中西 俊司 |
| 稚内港湾管理者 (稚内市長) | 工藤 広 (副会長) |
| 十勝港湾管理者 (広尾町長) | 村瀬 優 (副会長) |
| 石狩湾新港港湾管理者 (北海道知事) | 鈴木 直道 |
| 紋別港湾管理者 (紋別市長) | 宮川 良一 (副会長) |
| 網走港湾管理者 (網走市長) | 水谷 洋一 |
| 根室港湾管理者 (根室市長) | 石垣 雅敏 |

地方港湾

| | |
|--------------------------|------------|
| 宗谷港湾管理者 (稚内市長) | 工藤 広 |
| 枝幸港湾管理者 (枝幸町長) | 村上 守継 |
| 霧多布港湾管理者 (浜中町長) | 松本 博 |
| えりも港湾管理者 (えりも町長) | 大西 正紀 |
| 浦河港湾管理者 (浦河町長) | 池田 拓 |
| 白老港湾管理者 (白老町長) | 大塩 英男 |
| 森港湾管理者 (森町長) | 岡嶋 康輔 |
| 樫法華港湾管理者 (函館市長) | 大泉 潤 |
| 松前港湾管理者 (松前町長) | 石山 英雄 |
| 江差港湾管理者 (江差町長) | 照井 誉之介 |
| 奥尻港湾管理者 (奥尻町長) | 新村 卓実 |
| 瀬棚港湾管理者 (せたな町長) | 高橋 貞光 |
| 石狩港湾管理者 (石狩市長) | 加藤 龍幸 |
| 岩内港湾管理者 (岩内町長) | 木村 清彦 |
| 余市港湾管理者 (余市町長) | 齊藤 啓輔 |
| 増毛港湾管理者 (増毛町長) | 堀 雅志 |
| 羽幌・焼尻・天売港 港湾管理者(羽幌町長) | 森 淳 |
| 天塩港湾管理者 (天塩町長) | 吉田 忠 |
| 鷺泊港湾管理者 (利尻富士町長) | 田村 祥三 |
| 杓形港湾管理者 (利尻町長) | 上遠野 浩志 |
| 香深港湾管理者 (礼文町長) | 小野 徹 (副会長) |

令和5年5月31日

北海道港湾協会会長 蝦名 大也

